

2026（令和 8）年 6 月 11 日

株式会社大阪水道総合サービス

中期計画に基づく令和 8 年度の事業経営に関する計画（令和 8 年度計画）

1 年度計画の期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日（中期計画は令和 6 年度～ 8 年度）

2 事業経営に関する年度計画の指標・目標及び目標達成のための行動計画

水道局の行政目的又は施策の達成のために令和 8 年度に当社が行う事業活動に関する指標・目標及び事業活動継続に必要な財政運営の実績に関する指標・目標、並びにこれらの目標達成のための行動計画を次のとおり定める。

（１）水道局水道管等の管路保全業務を実施するための事業活動
（年度計画における指標・目標）

指標 1：管路保全業務の試行実施内容についての検査の結果	
目標 1：水道局による検査に合格	
指標 2：管路保全業務に係る社員育成の仕組みの構築	
目標 2：管路保全業務に係る社員育成の仕組みが運用されている状態	

（目標達成のための行動計画）

※ 各行動計画においては、水道局のスケジュールと整合を図りつつ連携して作業を実施

管理項目		達成水準	行動計画 ※	R 8 年度			
				Q1	Q2	Q3	Q4
事業活動	試行実施の業務	管路保全業務の試行実施内容についての検査の合格	業務執行体制(試行実施体制)による業務の試行実施				
			試行実施内容の社内確認(不備の確認)	☆	☆	☆	☆
			試行実施内容の水道局による検査(是正点の確認)		★		★
			不備・是正点の改善(社員の再度の訓練・力量評価等)				
	社員育成の仕組み	管路保全業務に係る社員育成の仕組みが運用されている状態 (執行体制(試行実施体制)となるすべてのグループ(2名以上で構成)の構成員である社員のうち、その役割に応じた力量があると評価された社員の割合 100%)	管路保全業務に係る社員育成の仕組みの構築(理解度確認シート・マニュアル類の充実)	前年度からの継続的な取組			
			管路保全業務に係る社員育成の仕組みの運用(理解度確認シート・マニュアル類の活用)				
			社員の役割に応じた力量の確保				

(2) 水道管等の管路保全業務を将来にわたって安定的かつ継続的に受託することができる財務運営基盤の確立に関する指標・目標

(年度計画における指標・目標)

指標 1 : 売上高

目標 1 : 23 億円以上

指標 2 : 営業利益率

目標 2 : 0.5%以上を確保

指標 3 : 令和 9 年度からの水道局水道管等の管路保全業務の受託料の設定

目標 3 : 令和 9 年度からの水道局水道管等の管路保全業務の受託料の設定

(目標達成のための行動計画)

売上高のベースとなる長期契約業務等の継続受注に加えて、営業活動で把握した市場のニーズが高い分野や、現時点で受注確度の高い案件がある分野での取組を進め、売上高の維持及び拡大に努めることで、目標売上高の 23 億円以上を確保する。

また、上下水道一体案件の増加や、官民連携の進展等による包括委託化案件等の増加が予想されることから、これらに積極的に参画することで、案件形成を目指すものとする。

新規案件の獲得に向けて、当社の持つ現在のリソース（人材、技術力等）が不足することが想定されることから、実務経験や技術ノウハウを持った社員の育成、D X 化等の経営基盤強化の取組を行うと同時に人材確保に資するためのベースアップを実施するために、営業利益の一部を当社のリソースを充実させるための先行投資に充てた上で、目標営業利益率として 0.5%以上を確保する。

また、令和 8 年度に取り組む管路保全業務の試行実施を通じて、業務量の把握及び執行体制の検討を進める。令和 9 年度からの受託料については、他の埋設企業体の工事状況等により業務量の変動する特性を踏まえ、試行実施の結果に基き適切に設定する。